

千歳セントラルロータリークラブ

ROTARY INTERNATIONAL District 2510

CHITOSE CENTRAL ROTARY CLUB



発行 千歳セントラルロータリークラブ

会長 坂井 治 / 副会長 彦坂忠人 / 幹事 佐々木俊哉 / 会報編集責任者 武田伸也

〒066-8520 北海道千歳市本町 4 丁目 ホテル日航千歳内 TEL・FAX.0123-26-5788 オフィシャルホームページ <http://www.ccrcc.jp> E-mail.office@ccrc.jp

会長あいさつ

会長 坂井 治

皆さん、こんにちは。

今日は、見渡しましたところ出席者が少ないようです。事務局に確認しましたところ無届欠席が 3 名、当日急に来られなくなった方が 6 名もいらっしゃるとのことです。今この会場に来てくださっている方に言っても仕方ないのですが、ホテルへの食事のキャンセルが当日では間に合わないということです。今日は 9 名分の食事が無駄になったということになります。

急用や突然仕事が入ったなどの理由は仕方がないと思いますが、できる限り前日までにご連絡頂くようお願いいたします。

4 日に千歳国際交流協会の主催の「国際交流の夕べ」に参加してきました。

参加者は 200 名くらいで、その 20%が千歳在住外国人だそうです。

当クラブの高塚パスト会長が委員として、ご活躍されています。

彦坂会員、斉藤会員、田口会員もご参加されました。先週の例会に来て頂いた 4 名も参加されていましたので、今回はせっかくの機会に日本人同士でしか話をしないということもなく、いろいろな方とお話することができました。

ちょうど、先週フィンランドに帰ったエンミがフェイスブックに書き込みをしていました。内容は「出来た～！！！！日本語能力試験 2 級に合格できたあああ～！！！！ヒアリングで満点とれた！」と大喜びのメールでした。

また、6 日の日曜日には、第 7 グループの I M が行われました。

参加クラブがそれぞれ制作してきた映像でクラブの活動しよう回をしましたが、わがクラブは武田会員が作ってくれた映像でクラブの活動を紹介しました。

6 クラブ中、群を抜いて素晴らしい報告だったことは言うまでもありません。

ご参加されました会員の皆さんお疲れ様でした。

今日の例会は米山奨学金委員会加藤委員長の卓話になっております。

例会出席状況 (2011 年 3 月 8 日)

会員数	34 名
会員出席者数	17 名
欠席者数 (内: 無断欠席)	17 (3) 名
出席率 (前回例会)	50.00 (67.64) %
ゲスト・ビジター出席者数	0 名
出席者数総計	17 名

どうぞよろしくお願い申し上げます

幹事報告

幹事報告 佐々木 俊哉

- 国際ロータリー日本事務局より詐欺メールについての連絡がありました。ロータリアンを狙った悪質な詐欺メールの被害が発生しているようです。振り込み詐欺同様、メールでの寄付の要請、個人情報の流出に十分ご注意ください。
- 千歳国際交流協会事務局より「国際交流応援情報誌エール 3 月号」が届いています。回覧していますので、ご覧ください。
- ロータリー囲碁同好会のご案内
 - ・ 日時: 2011 年 10 月 22 日(土)
 - ・ 会場: 東京市ヶ谷の日本棋院会館 1 階対局室
- 国際ロータリー 2510 地区 社会奉仕活動レポート冊子が届いています。回覧しています。
- (財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターよりニュースレター 84 号が届いています。
- ガバナー月信 3 月号の 11 頁に古木克紀会員が新入会員として、12 頁に鈴木昭廣会員がポール・ハリス・フエロー認証で掲載されています。
- ニュージーランド地震災害義援金のお願いです。皆様よろしくごお願い致します

ニコニコ BOX

ニコニコ箱委員会 委員長 羽芝 涼一

古木克紀会員: 新入会員としてガバナー月信 3 月号に

掲載されました。

本日のプログラム

「千歳に名所を！」

担当 米山奨学金委員会 委員長 加藤 晶啓

ここに立って話すのは、最初に入会した時と誕生日の時だけです。

今日お話しさせていただくのは、「千歳に名所を！」ということで大変大規模なことを考えました。ちょうど 8 年ぐらい前から、この千歳になぜ名所がないのだらうと思っていました。インディアン水車と支笏湖だけです。どんどん川が汚れて中州もできてくる。放っておくと清流ではなくなってくるのではないのでしょうか。予算の関係かそれもそのまま放りっぱなしです。一つにお盆などに川で灯籠流しをすることがあります。基本的には禁じられていますが、下流でロープを張って回収をすることは各地で行われています。それさえも行われていません。ちょうど桜の咲く時期になるとゴルフ場でちらほら見えるだけであって遠くまで行かなければなりません。静内の二十間道路や弘前など素晴らしいものがあります。しかし、千歳にはありません。新千歳空港には国際線もできていながら千歳には何も見えてきません。町も 50 年、100 年ぐらいたった建物がいまだにありそれすら改善して新しいものができる、という状況も見えません。だんだん、町がダメになってきます。町に出てみると閑古鳥が鳴いていて、誰もいません。誰もが景気の良い状況をつくっていかなければなりません。政治も今はめちゃくちゃな状態です。しかしながら、千歳は千歳で何か名所を作れば、明るいものがでてくるのではないかと思います。ただ、後から名所を作るので、他所のソメイヨシノだけというのではなく間にイチヨウやもみじをいれて年に 2 度楽しみができるようにしてはどうでしょうか。一度にやろうとしても無理なので、一旦全部出来上がったら、船を浮かべてみてはどうかと思っています。5 年計画ぐらいでやりたいと考えています。花だけは 3 年ぐらいで咲いてほしいと思っています。そのためには 10 年～15 年もの木を買わないと雪でみな潰されてしまいます。私も何百万かかけてやってみたのですが、全部だめでした。やはり手入れをしなければなりません。ただ木を植えて市にお願いしますといってもできないと思います。この計画の名称ははまだわかりませんがこの地に花を並べたいと思います。それには私共、千歳セントラルロータリークラブだけではなかなかできません。東京では考えられませんが、ローカルではアットホームな部分がありますので、ライオンズクラブなど他の方々にも必ず参加していただけるのではないかと思います。千歳に何かをつくろうとこれまでに何度も考えてきました。最初はできないだらうと思われ手伝ってもらえませんが、できあがってくると必ず人は手伝ってくれます。手元の資料に 3,5 km 以上ないと名所になりません、とあり

ます。ちょうどサーモン橋から 30 本以上桜が咲いています。それからパラパラと約 300 本ぐらいの桜があると思います。雪が解けたころ、写真を撮ってきたいと思っています。3,5 km というと結構な距離です。しかし、サーモン橋から 6 km ぐらいまで開発局がつくった遊歩道があります。

一番人が集まるのは、インディアン水車のあたりと高速道路の高架下あたりです。そこに力を入れていけば非常に良いのではないかと考えております。

しかし、できないだらうというところから我々だけは考えてほしくないです。6 団体・商工会議所・観光連盟だけにはお願いするだけではだめだと思います。千歳市民が動いてくれば実行できないと思います。これを説得するのが我々です。まず千歳セントラルロータリークラブのみなさんが目的を共有して強固な集団として行っていかなければ実行できません。この事業が奉仕なのかと考えるとこれは大変大きな奉仕活動だと思います。小さな活動をやることよりは町の発展を考えると大変な奉仕だと思います。ロータリアンとしてこういったことをやっていいのかどうかを考えると、それは皆さんのほうがよくわかりだと思います。これは自分のためではなく、市のためであり大きく考えるとアジアのためでもあります。地に足をつけて同じ考え方を持ってやっていけば、千歳ロータリークラブ、千歳ライオンズクラブなどの方々も賛成していただけると思います。先日、高塚直前会長に市長と 1 時間以上もお話をさせていただき、市長も認めてくださったそうです。この計画についての階段までたどりついたということです。今まで右往左往していけなかった階段を高塚直前会長が開けてくれました。我々はあとは登って行くだけです。何段登って達成するかわかりませんが、目的は、花は 3～4 年で咲かせよう、5 年目には船を浮かばせようということです。我々は限りある命です。命ある限り、行動をしなければいけない気がします。千歳セントラルロータリークラブとして何か一つ自分たちで作り上げたというものをやっていきたいと考えています。ぜひみなさん、協力してください。よろしく申し上げます。

—— 高塚直前会長

補足説明として、加藤さんが千歳に来られてから長年の夢ということで、なんとかならないかと市長とお話をしました。計画を練る前に千歳市と石狩川を所管している石狩開発局で許可が必要なのかということです。市長はこれまで市民力、都市の空間をどのような模索していくかということで出前朝礼などのなかで、千歳に滞留できるような場所を模索しなければならぬと説明しています。そこで考えたのが千歳川の周辺を桜だけでなく夏、秋と楽しんでいただけるように 10 メートル間隔でピラミッド型にイチヨウともみじを植え直すということです。木は 10 年根を使うということで話をしました。これまで、千歳ロータリークラブ等いろいろな団体が桜を植えてきましたが、5 年根だったためことごとく失敗してきました。どうに

かしてやりたいといったところ、千歳市に企画書を持ってきてくれば市長が全部やります、とお話ししていただきました。私共のクラブ一つがやるのではなく、核となるのは市制 50 周年記念で行った 6 クラブ共同で立ち上げをやりたいと申し上げたところ、大変よい考えなので市民力に伝わるようなことで是非企画してもらえないかと言われました。私もよく知らなかったのですが、遊歩道はすべて石狩川開発局の寄付で行われたそうです。企画書とどのように運営できるのかということですが、これは単年度ではできません。少なくとも 4.5 年はかかります。ですから、1 年目で様子を見て枯れる木もあるでしょう。そのようなことも確認しながら推し進めていかなければなりません。市長から、現在千歳中学校から千歳川に向かってグリーンベルトを整備しており、最終的には橋を渡したいと考えておりましたが、夏に子供たちが遊べるようなところをつくりたいと市が企画して行っているという話がありました。そういった話もあり、単年度では無理でも長期計画の中の一つとしてそういったことを行うのは大変素晴らしいことだと言われました。夢が膨らむようなかたちで市民協働作業を含めてやってもらいたいということでした。問題はいろいろあります。観光客が大勢訪れた時、車をどうするかと言えば、市役所横の駐車場を使うと良いと言っていました。これは完成した時の話ですが、ランチをする場所はどうするかといった問題など町の中の空き家同然のアーケードの利用を含めて、市役所を中心として再開発をしなければならないということでした。川に親しんでいただけるようなものを作るということで、6 団体に提案をして了承が得られれば、ある程度基本運営する際の資金は必要になってくるでしょう。計画書が許可されれば、市の協働作業からも予算を計上できるということです。北海道空港の住吉会長にお会いした際にも良い案なので協力したいということをお話されていました。千歳商工会議所の三役会でも私の提案したことを話し合っただき、これはいいのとっていただきました。開発局の許可も市が前提となれば、全部許可になります。最終的には企画力と資金力です。それがきちんと対応できれば、一つのかたちとなるでしょう。これは大変難しいので、余程の企画をきちんと練らなければ途中で挫折することにもなりかねません。だいたい 5 年ほどの長期的計画を考えていますが、この 5 年間にそれぞれのクラブ・組織が周到していかなければならない作業を行い、完成してからの手入れも見直しながらかやっていますといずれ立派な名所になるのではないのでしょうか。なるべく、千歳の業者を使っていくことを考えています。これまでロータリークラブではいろいろな事業を行ってきましたがその集大成として、千歳の町に何が貢献できるかです。先日長沼で行われた IM でも話がありましたが、ロータリークラブは地域に何を貢献できるかということです。それを検証していく方法はいろいろあると思いますが、これほど遠大な長期的な計画はないと思います。資金も必要になるこ

とですが、市民協働作業も含めて総合的に進めていなければなりません。ちょうど、「きふ・とも」の口座をもっていますから、それを利用して市民からの浄財を集めて資金の一部として使うという方法もあります。地図だけではなく、空から見て完成図がどうなるかというイメージも提案書につくらなければなりません。桜も山桜、ソメイヨシノなどいろいろあると思います。苗木の費用や作業費などいろいろ大変なこともあると思います。加藤晶啓会員の熱意に駆られて、市長に貴重な時間をあけてもらい話をしてきました。終局的には企画書としてしたためられたら、市は全面的に協力をしますということでした。河川管理についても建築部が窓口になってお受けするということでした。加藤晶啓会員の思いもあわせながら、私が代表してお話をしてきました。市ではできないことだけれども、みなさんの力、市民力でやっていただきたいと市長も話を聞いてくださいました。以上、ありがとうございました。

NEWS & TOPICS

東北地方太平洋沖地震

3月11日午後2時46分頃、「東北地方太平洋沖地震」が青森、岩手、宮城、福島、北海道を中心に発生しました。その後、長野、新潟、茨城などでも発生し、「東日本大地震」とも言うべき大災害です。被害に遭われた方々には謹んでお見舞い申し上げます。

時間が経つにつれ、被害の状況がどこまで拡大するのか恐ろしい限りですが、被害が最小限にとどまり、被災者の救済が一刻も早く進むことをお祈り致します。

報道を聞いていますと、馴染みのある地名が出て来ます。宮城、岩手、福島、高萩、新潟、お世話になった方々の安否が気になります。

そして、津波、火災、原発、コンビナート、雪崩・・・、心配はとどまるどころを知りません。

首都圏においても「計画停電」が実施されるなど市民生活を直撃しています。

海外からは哀悼の意と救援の申し出が寄せられてきます。

災害が発生した時こそ地域のチカラがものを言います。

思いやり、助け合いのところが復興を支えます。

頑張れニッポン！ 叫ばずにはられません。

例会「無断欠席」の根絶！

例会の「無断欠席」と例会直前「ギリギリ連絡」が増加しています。欠席者の増加は例会運営に支障をきたすことは勿論ですが、準備している食事が無駄になってしまうという経費の無駄遣いにも繋がります。

「年会費を払っているのだから、食事代も先払いしている」という話を以前耳にしたことがあります。まさしく、代金を支

払い済みの食事を食べようと食べまいと、強くものを申す筋合いにはありません。

しかし、クラブが運営されている経費は、各会員の会費ですべて賄われています。食されないまま「廃棄された食事」の数量の食事代金は、何の意図も持たずに支出されてしまいます。

ちなみに、通常例会で 1 名分が約 1,600 円、親睦例会で約 4,000 円です。たとえば、親睦例会で 10 名が欠席連絡を怠ると、40,000 円が無駄な経費支出となります。田口国際奉仕委員長にご活躍頂いている「WCS」プロジェクトにわがクラブが支出している事業費は、50,000 円です。

決して充分とは言えない WCS 事業費に対して、私たちは年間どれくらい例会で食事を廃棄してしまっているのでしょうか。

ローターの奉仕とは金持ちの道楽・・・。

昨今、各方面に多少評価されている千歳セントラルロータークラブですが、これが実態なのです。

止むを得ない例会欠席は、例会前日の正午 12 時まで

に連絡することが必須です。

例会当日では、遅過ぎます。

第 7 グループ「IM」

3 月 6 日(日)、長沼町総合保健福祉センター「りふれ」で、第 2510 地区第 7 グループ IM が、開催されました。



SCHEDULE

3 月 22 日	通常例会「会員増強について」 [担当/会員増強・維持委員会(高塚委員長)]
3 月 29 日	通常例会「卓話 環境問題について/大古瀬千代様」 [担当/エコプロジェクト実行委員会(須藤委員長)]
4 月 5 日	★通常夜間例会「クラブ協議会」 [担当/佐々木幹事]
4 月 12 日	通常例会「ローター誌について」 [担当/プログラム・雑誌委員会(彦坂委員長)]
4 月 19 日	★親睦夜間例会「未定」 [担当/親睦活動委員会(加藤正志委員長・手島副委員長)]
4 月 26 日	通常例会「次年度方針」 [担当/羽生会長エレクト]
5 月 3 日	●休会 (みどりの日)
5 月 10 日	移動例会「ふれあい農園」 [担当/ふれあい農園実行委員会]
5 月 17 日	★親睦夜間例会「未定」 [担当/親睦活動委員会(加藤正志委員長・手島副委員長)]
5 月 24 日	移動例会「アイドリング・ストップ啓発活動」 [担当/エコプロジェクト実行委員会(須藤委員長)]
5 月 31 日	●休会 (月末)
6 月 7 日	★通常夜間例会「クラブ協議会」 [担当/佐々木幹事]
6 月 14 日	通常例会「2010-2011 活動報告①」 [担当/羽生会長エレクト、須藤副幹事、高塚直前会長、菊池会計]
6 月 21 日	通常例会「クラブ協議会」 [担当/坂井会長、彦坂副会長、入口 20 周年実行委員長、佐々木幹事]
6 月 28 日	★親睦夜間例会「最終例会」 [担当/佐々木幹事、親睦活動委員会(加藤正志委員長・手島副委員長)]